

# 令和5年5月定例会会議録

(令和5年5月22日)

八代市教育委員会

## 八代市教育委員会 5月定例会会議録

- 【開催日】 令和5年5月22日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長  
渡邊 裕一 教育委員  
奥村 留美子 教育委員  
早田 蛍 教育委員  
澤村 互寛 教育委員
- 【出席職員】 松川 由美 教育部次長  
田中 智樹 教育部次長  
下津 恵美 教育政策課長  
田北 佳一郎 学校教育課長  
稲本 健一 教育部理事兼教育施設課長  
高崎 博文 生涯学習課長  
櫻井 幸枝 教育サポートセンター所長  
上角 愛美子 博物館未来の森ミュージアム副館長  
松本 豊 教育政策課長補佐
- 【事務局】 萩本 誠子 教育政策課教育政策係長  
浦本 美代子 教育政策課参事

### （審議事項）

#### <議案案件>

- ① 八市教委議第11号 八代市心身障害児童生徒就学指導委員会委員の委嘱について
- ② 八市教委議第12号 八代市奨学生選考委員会委員の委嘱について

1. 開会 (午後2時00分 開会)
2. 会議録の承認 令和5年2月定例会、2月臨時会（24日、27日）
3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
4. 議題  
〈八市教委議第11号〉 八代市心身障害児童生徒就学指導委員会委員の委嘱について

田北学校教育課長 現在委嘱している八代市心身障害児童生徒就学指導委員会委員の異動に伴い、補欠委員を委嘱する。

早田教育委員 心身障害児童生徒就学指導委員とは、具体的にどのようなことを行う方々なのか。また、市内にどのくらいの対象者がいるのか。

田北学校教育課長 心身障害児童生徒就学指導委員会とは、通常学級に通ったほうがいいのか、特別支援学級に通ったほうがいいのか、あるいは特別支援学校に就学したほうがいいのかを専門の方々に意見を伺いながら就学先を決定する会議になる。年に4回開催しており、昨年度は227名の児童生徒について審議を行った。

【八市教委議第11号 承認】

〈八市教委議第12号〉 八代市奨学生選考委員会委員の委嘱について

下津教育政策課長 八代市奨学生選考委員会委員の任期満了に伴い、委員を委嘱する。

奥村教育委員 奨学金制度については、国の制度も難しくなっていく中で度々耳にしているが、八代市の奨学金の1人あたりの金額はどのようになっているか。また、ニュース等で聞くのが、奨学金の返還が難しくなっている人たちがいるということである。八代市の返還状況はどのような状況か。

萩本教育政策課教育政策係長 貸付の金額については、就学先が国公立高校、高専1～3年生で月額2万円以内、私立の高校で月額3万円以内、国公立の大学、専門学校、高専4・5年生で月額4万5千円以内、私立の大学、専門学校で5万円以内である。

償還の状況については、過年度の滞納もあり、令和4年度末の滞納者数は33名、滞納額は1千万円を超えている状況である。合併前の滞納が残っており、納税課債権対策室と連携しながら、催告を行うなど、納付につながるような対策を取っているところである。

奥村教育委員 借りたものは返すべきであると強く言えない状況があるのではないかと思う。滞納している方たちというのは、卒業後の就職がうまくいかなかった、体調を崩したなど厳しい状況にあるのだろうか。また、申請者は毎年どのくらいいるのだろうか。

下津教育政策課長 申請者は令和元年度は4名、令和2年度は1名、令和3年度は2名、令和4年度は3名、令和5年度は6名である。貸付者については、令和3年度は2名の申請者に対し、1名の

貸付であったが、他の年度は申請者全員に貸付を行っている。

萩本教育政策課教育政策係長 滞納の理由については、個別に具体的な事情があり一様ではないが、当初の約束の金額は納付できないため分納の申し出があったり、親御さんが代わりに納付されたり、常々個別の相談を受けている。

田中教育部次長 1千万円程度の滞納額があるが、多くは市町村合併前のものであり、相当な時間も経過しているため、本人との連絡が取れていなかったり、当時の申請者が御両親であったり、亡くなっていらっしゃったりなど、不明な点も多くある。納税課債権対策室と毎年協議をしているが、申請書類の不備など、裁判に耐えうる材料が揃っていないということもある。  
私債権であり、時効の制約があるため、時効の管理を行い、定期的に催告を行ったり、転出先の自治体に住所を確認したり、生活状況の確認を行ったりしている。合併後の申請者については、概ね本人との連絡も取れており、一括返済や分納の誓約をするなど、少しずつ滞納解消に向かっている。現在、他の自治体では給付型の制度もあり、今後は検討していかねばならないのではないかと考える。

奥村教育委員 年度によって申請者数はまちまちであるが、申請があれば概ね皆さんに貸付を行っているということではどうか。  
申請者数が少ないように思うが、学校等への周知はできているのか。

萩本教育政策課教育政策係長 申請者については、選考委員会で要件を満たすかを確認し、認められた場合は全員に貸付を行っている。予算額はあるが、不足した場合は補正予算で対応することとしている。  
令和2・3年度は貸付者が1名ということで見直しを検討すべき時期もあったが、昨年度から上昇に転じており、コロナ禍や物価高騰で経済的に就学が困難な方が増えているのではないかと感じる。他の奨学金制度もあるが、本市の奨学金については、他の奨学金制度の対象とならなかった市民の方たちのセーフティネットとして、手続きの時期を遅くしている。今年度は申請者が6名ということで、今後も必要な制度ではないかと考える。

#### 【八市教委議第12号 承認】

4. 連絡事項  
学校教育課 学校訪問（Cタイプ）（6/14・27・29）  
教育施設課 令和5年度事業年間スケジュールについて  
生涯学習課 やつしろ市民大学公開講座（6/16）

教育サポートセンター 研修会について

博物館 聖山南風展 (6/4 まで)

事務局 総合教育会議 (6/13 13:30～博物館講義室)

6月定例会日程確認 (6/26 14:00～)

奥村教育委員

地域の方々から、学校のトイレはどうにかならないかと声をかけられることがある。休み時間の度に、洋式になったトイレに行列ができるということである。計画的に改修されているので大丈夫ですよと説明をしている。今年度の計画が完了したところで、あと何校の改修が必要なのだろうか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長

令和2年度までで41.1%、令和3年度末で42.1%であった。令和4年度に92器の和便器を洋便器に改修し、49.3%になった。植柳小、一中で大規模な改修を行っており、日奈久中、二見小、鏡小、鏡中については便器3～4台の改修を行っている。令和5年度の改修工事は、八千把小と三中、体育館と屋外トイレについては、小学校10校、中学校5校、総数で洋便器83器の改修を行う予定である。最終的な今年度の見込みは55.4%である。予算残があれば、改修を行いたいと考える。

設計委託について、令和3年度・4年度は2校ずつであったが、今年度は9校の学校で行うので、来年度はかなり率が上がると思われる。

早田教育委員

同じ業者で工事を行うのか。

稲本教育部理事兼  
教育施設課長

入札によるため、同じ業者で工事を行うものではない。金額によりランクが分かれており、それぞれの金額に応じた業者で入札を行う。小規模の金額については、得意分野の業者が入札によりいくつかの工事を落札されることもある。

5. 会議録署名委員の指名

奥村委員・澤村委員

6. 閉会

(午後3時09分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

---

---

記録者

---